

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月28日

計画の名称	安全・安心な暮らしを支える“富士”のみちづくり（防災・安全）														
計画の期間	平成31年度　～　令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当				
交付対象	富士市														
計画の目標	安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指し、交通安全施設等の整備、災害時の通行空間の確保及び道路施設の長寿命化を推進する。 ・歩行者、自転車と自動車が分離される道路整備を推進することにより、常時、災害時ともに安全な通行が可能な道路空間の確保を目指す。 ・舗装の劣化が著しい箇所を修繕することにより、安全・安心・快適な道路空間の確保と長寿命化を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,215	A	4,215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)		(R5末)
1	歩道と車道を分離（簡易整備を含む）することにより、安全に通行できる道路延長の割合を52%から60%に向上させる。			
	改善が必要な道路延長のうち、歩道整備（簡易整備を含む）により安全に通行できる道路延長の割合を算出する。	52%	%	60%
	利用者の安心度(%)=(安全通行可能な道路延長/改善が必要な道路延長)×100			
2	自動車が安全に通行できる路面の健全度を43%から50%に向上させる。（※幹線道路における望ましい路面性状値(MCI=5.1以上)から指標を計測）			
	計画路線における健全な路面性状値(MCI=5.1以上)の割合を算出する。	43%	%	50%
	路面の健全度（%）＝Σ(対象路線MCI=5.1以上の延長) / （計画路線の総延長）×100			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	（都）富士駅南口田子浦線	現道拡張 L=290m	富士市	■	■	■	■	■	744		—
	A01-002	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	（都）五味島岩本線（岩松工区）	現道拡張 L=368m 道路新設 L=130m	富士市	■	■	■	■		585		—
	A01-003	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	（都）五味島岩本線（四ツ家工区）	現道拡張 L=420m	富士市		■	■	■	■	648		—
	A01-004	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	（1）吉原沼津線（今泉）	舗装補修 L=0.3 k m	富士市	■	■				46		策定済
	A01-005	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	（1）吉原沼津線（比奈）	舗装補修 L=0.7 k m	富士市	■	■				112		策定済
A01-006	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	（1）弥生線	舗装補修 L=0.9 k m	富士市	■	■	■	■	■	156		策定済	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）前田宮下線	舗装補修 L＝1.0 k m	富士市	■	■	■	■	■	169		策定済
	A01-008	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）吉原大淵線	舗装補修 L＝2.0 k m	富士市	■	■	■	■	■	270		策定済
	A01-009	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）田子浦鷹岡線	舗装補修 L＝0.3 k m	富士市			■	■	■	69		策定済
	A01-010	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）左富士臨港線	舗装補修 L＝0.8 k m	富士市			■	■	■	218		策定済
	A01-011	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）厚原込野16号線	舗装補修 L＝2.0 k m	富士市		■	■	■	■	300		策定済
A01-012	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）富士鷹岡線	舗装補修 L＝0.7 k m	富士市			■	■	■	111		策定済	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-013	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	点検調 査	（１）臨港富士線ほか	点検調査 N＝14橋	富士市	■					3		策定済
	A01-014	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	（２）宝町高島線	歩道整備 L＝220m	富士市	■	■	■			71		－
	A01-015	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	（他）川成島美土原１号 線	歩道整備 L＝260m	富士市	■	■				40		－
	A01-016	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	（２）本町四丁河原線ほ か	歩道整備 L＝1,100m	富士市	■	■				63		－
A01-017	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	（他）今泉踊場２号線ほ か	歩行空間 L＝1.0km	富士市	■	■	■	■	■	250		－	
A01-018	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	改築	（１）吉原沼津線ほか	耐震対策	富士市				■	■	50		－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-019	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（１）吉原沼津線ほか	舗装補修	富士市				■	■	160		策定済
	A01-020	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	修繕	（２）富士岡中里線	舗装補修	富士市				■	■	150		策定済
											小計						4,215		
											合計						4,215		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士市建設事業関連部署で構成する富士市道路事業評価委員会により事後評価を実施。 。	令和7年3月
	公表の方法 富士市ウェブサイトで掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・歩道整備を行うことにより、通学生や地域住民など歩行者の安全性が向上した。（宝町高島線、川成島美土原1号線） ・現道拡幅等を行った結果、道路利用者の利便性が向上した。（五味島岩本線（岩松工区・四ツ家工区）） ・交通量が比較的多く、舗装の劣化が著しい箇所では舗装を補修したことにより、安全で快適な走行が可能となった。（前田宮下線、厚原込野16号線等）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・富士駅南口田子浦線、五味島岩本線（四ツ家工区）の改築事業については、令和6年度以降の計画においても継続して事業を進めており、事業効果の早期発現を進めていく。 ・今泉踊場2号線の交通安全事業については、令和6年度以降の計画においても継続して事業を進めており、事業効果の早期発現を進めていく。 ・舗装補修事業については、次期計画においても、安全で快適な走行空間の確保に向けて幹線道路の舗装補修を進めていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	60%	(都)五味島岩本線(四ツ家工区)、(都)五味島岩本線(岩松工区)、(他)今泉踊場 2号線などの路線区間完成に伴い、部分供用することができたため。
	最 終 実績値	66%	
2			
	最 終 目標値	50%	事業費が安定して確保できたことにより、計画どおり事業が進捗した。また舗装の劣化速度が想定よりも緩やかであったため、路面性状値の基準値を上回る区間が多かった。
	最 終 実績値	65%	